



～ ONE ROOF ～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を作り出す力を育てていこうという思いを込めています。

にこにこだより

令和元年 5 月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618

今年は桜が思いのほか早く咲き、あっという間に新緑がまぶしい季節となりました。元号も変わりこれからの時代を担う子どもたちに、『何を伝えて集団生活の中でどのように育てていくか』など考えるきっかけとなり、これからの船堀中央保育園の運営と職員の人材育成に力を注ぎたいと思います。

入園、進級してもう1ヶ月がたちます。それぞれのクラスの様子をご紹介します。

お父さんお母さんの腕の中から『おおきなおうち』に仲間入りした11名の0歳児（あひる組）の赤ちゃんたち。入園当初は、安心感をもてるように他のクラスの保育者にも入ってもらい、おんぶしたり抱っこしたりとたくさん関わってもらいました。赤ちゃんが泣くのは保護者のみなさんに注がれてきた愛情の現れでもあります。よく泣きよく主張する子どもたちを肌で感じながら、この子たちの成長がますます楽しみになりました。今は落ち着いてきて、保育者がゆったりと絵本を読んであげられるようになっています。思い返せば私の娘もよく泣き、飲まず食わずの頑固者でしたが大きくなりました。離れるときに泣かれると親としてはどうしようもない気持ちになりますが、これからの子どもたちの成長を楽しみに、何かご心配なことがあればお仕事の休み時間などに保育園に連絡ください。いつでも大丈夫です。10人の新入園児の子どもたちが、家族になった1歳児（うさぎ組）クラスです。物事の理解ができる子ども達は、保護者の方から離れる時は自分の気持ちを身体いっぱい表現していました。その姿をみると胸が押しつぶされそうになります。しかしこの時期はこの姿がとても大事で、泣くという行為によって気持ちのコントロールができるようになります。また、気持ちがすっきりする事で楽しい遊びや、美味しい食事に出会い家以外でも安心できる環境があるとわかるようになります。今の姿を大きくなった時に伝えてあげたいと思う期間でした。進級した1歳児の子どもたちは昨年、安心して過ごしていたからか泣いている子に優しくテッシュを渡したり、「いい子、いい子」など頭をなでたりする姿が多くみられました。同じ年齢でも泣いている子に思いやる小さな小さな姿に感動しました。2歳児（ひよこ組）クラスは、先生や過ごす部屋が変わっても安心して過ごしているようで新しい玩具を見て、嬉しそうにお友達と仲良くしています。うさぎ組のクラスの小さい子に手を振ったりと可愛らしい姿やテラスで絵本を見ながら、先生の読み聞かせの真似やたくさんのお言葉がでてお友達同士仲良く過ごしています。幼児クラスは、どの子も新しいバッチをもらい、自分たちがお兄さん・お姉さんになったことをアピールしています。例えば先生のお手伝いをしたことや小さな子のお世話等をして、今までの自分より背伸びをして役割をもって過ごし、事務所に来てお手伝いの報告をしてくれます。その子どもたちを認め、丁寧に対応して『ありがとう』の言葉で表現していきたいと思っています。

毎年園長として思うことが、子どもたちの成長の支えとなるよう、私たち職員は互いに協力しあい、やさしく、事故のないよう、日々の保育にあたっていきたいと思います。



5月の保育



<目標>

- ・保育士等と触れ合いながら、育ちや興味に合った遊びを遊ぶ。
- ・一人ひとりの生活リズムで保育者や保育室に慣れ、安定した生活を送る。

入園して間もない頃は保護者と離れる際に泣く姿も見られていましたが保育士に抱っこやおんぶをしてもらいながら少しずつ保育園にも慣れ、好きな玩具に手を伸ばし、可愛い笑顔を沢山見せてくれるようになりました。天気の良い日にはバギーに乗りお散歩へ出かけたり、テラス等で外気浴を楽しんだり園庭に出て砂や葉っぱに触れ感触を楽しんだりしながら過ごしています

<お楽しみ>

- ・気候の良い日にはバギーに乗ってお散歩に出掛けたり、園庭やベランダで外気浴をしたりして楽しもう！
- ・保育者と触れ合い遊びを楽しもう！（一本橋こちょこちょ、いないいないばあ等）

（記：大野 晃成）



<目標>

- ・戸外に出て探索活動を楽しみ、春の自然に触れる。
- ・保育士等と一緒に過ごす中で園での生活に慣れる。



<先月の子どもの姿>

新しいお友達が10名増え、22名で過ごしています。入園当初泣いていたお友達も、少しずつ園生活に慣れてきて、園庭の砂場で保育士と一緒にバナナやお魚等の型抜きを楽しんだり、カモシカ号の滑り台を滑ったりと好きな遊びを見つけて元気いっぱい遊んでいます！また、天候の良い日には、新川沿いへお散歩に出掛け桜を見に行きました！走っているバスを見つけると「ばす！」と指を差し発見を楽しむ姿も見られました。

<お楽しみ>

- ・大きなおうち「GO！GO！GO！」等のリズム体操を踊って身体を動かそう！
- ・園庭や散歩先で春の自然を探そう！

（記：小川 夏蓮）



<目標>

- ・長い休み明けの生活リズムを整え、落ち着いて過ごす。
- ・運動会に楽しく参加する。

<先月の子どもの姿>

ホールの広いスペースを活かして、皆の大好きなリズム体操を楽しんでいます。園庭では虫探しをしたり、舞い散る八重桜の花吹雪に歓声を上げ、春の自然に親しんでいます。保育士等が手のひらに載せた花びらを吹き飛ばして見ると、真似をして自分でもふうふうと花びらを吹いてみる可愛い姿がありましたよ。オマルでの排泄に成功するお友達が少しずつ増えてきました。「おしっこでた！」と誇らしげに教えてくれる表情が頼もしいです！

<お楽しみ>

- ・広い場所で目標に向かって思い切り走ったり、追いかっこをする。
- ・園庭やホールで、運動会で使った曲のリズム体操を楽しむ。

（記：志津 亜希子）

<目標>

- ・運動会遊びを楽しみ、期待感を持って当日を迎えよう！
- ・天候の良い日には戸外で沢山身体を動かして遊ぼう！！



<先月の子どもの姿>

○花組

進級式で園長先生からピカピカの赤色バッチ、おはようブックを貰い嬉しそうに毎日を過ごしています。「きょうはこれにしようかな！」とシール選びも楽しみの一つの様です。天気がいい日には、新園屋上、本園屋上、園庭と好きな場所でお兄さんお姉さんと一緒に沢山身体を動かして遊びました！

○星組

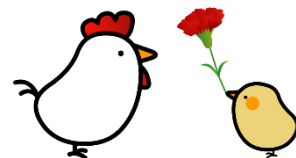
進級式で園長先生からピカピカの黄色バッチを貰うと、「ほしぐみさんだからがんばる！」と様々な事に意欲的に取り組んでいる星組。こいのぼりの制作ではマーカーで好きな模様を描き、「きれいなうろこがかんせいしたよ！」と嬉しそうに見せてくれました。室内の制作にも挑戦し様々な作品作りを楽しんでいます！

○月組

進級式で園長先生からピカピカの青色バッチを貰い、いよいよ憧れの月組としての生活が始まりました。葛西大きなおうち保育園、船堀中央保育園の入園式に保育園の代表として参加し、「みんなのほいくえん」「あそびましよう」「大きなおうちキラキラ」の3曲を披露してくれました！初めての造形活動に参加し、講師の杉山先生と一緒にローラーペイントで素敵なこいのぼりを完成させました！

<お楽しみ>

- ・青空ランチをしよう！
- ・お散歩に出掛け、広い場所で沢山身体を動かそう！



(記：季武 宏枝)

【保健】

気温の寒暖差の激しい日々が、続いています。連休中も体調の変化に注意してお過ごしください。大人の生活リズムではなくお子様のリズムを配慮して、楽しいお休みを過ごして下さい。予防接種や健康診断、歯科検診等受けられた場合はかならず、職員に伝達をお願いします。

**5月16日(幼児)
30日(乳児)
健康診断を行います**

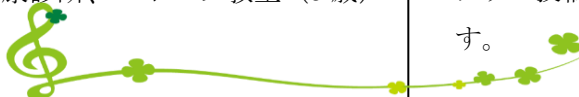
当日は着脱のしやすい服装をお願いします。なお、特に気になることがある場合は、事前に職員までお知らせください。(0歳児は両日とも行います)



☆5月の行事予定☆

- 8日 避難訓練 13日 身体測定 (3・4・5歳)、造形 (5歳)
- 14日 身体測定 (0・1・2歳)
- 16日 誕生会「おおきなかぶ」、0歳児・幼児 (3・4・5歳) 健康診断
- 25日 運動会 29日 体育指導 (3・4・5歳)
- 30日 カウンセリング、乳児 (0・1・2歳) 健康診断、スポーツ教室 (5歳)
- 31日 英語 (3・4・5歳)

- ・25日(土)は運動会です。詳細は後日手紙にてお知らせ致します。
- ・30日(火)はスポーツ教室です。当日室内履きのご用意をお願いします。詳細は後日掲示、クラス投稿にてお知らせ致します。



～端午の節句について～



「端午」とは、月の初めの午(うま)の日、5日のことをいいます。

昔、中国で5月5日に行われていた病気や厄災を祓う重五(ちょうご)という節句と、田植えの時期に農家で厄除けとして蓬(よもぎ)や菖蒲(しょうぶ)を飾る日本の行事とが結びつき、端午の節句がはじまったといわれています。端午の節句には、鯉のぼりをあげ、柏餅を食べ、菖蒲湯に入るなどして男の子の成長を祝います。

柏餅には、柏は若い芽が生長するまで古い葉が落ちないことから、後継ぎが絶えないようにという意味があります。

／＼それぞれの由来と習慣／＼



・**鎧や兜**：自分の命を守る象徴として考えられ、男の子の事故や病気、災害などから守ってくれますように、という願があります。



・**五月人形**：人形のモデルになっている人物の様に成長して欲しいという願があります。



・**粽**：粽は中国から伝わってきた食べ物です。中国の屈原という人が5月5日に亡くなった事を偲んでお供えするようになったことから、5月5日に粽作って災いを除ける風習が出来、端午の節句と共に日本に伝わりました。



・**柏餅**：江戸時代に生まれた日本のお菓子です。柏の葉は次の新芽が出るまで落ちない事から、子孫繁栄の象徴です。



・**鯉のぼり**：中国の古事「登竜門」にちなみ、立身出世の象徴として、男の子の出世や成長を願い、飾られます。



・**菖蒲湯** 中国で、季節の変わり目に体調を崩しやすいとして菖蒲湯に入る風習がありました。春から夏へと季節が変わる頃に、日本へ伝わったものとされています。また、日本には古来から「五月忌み」と言って菖蒲の葉や蓬を軒に挿し、邪気を祓う風習があり、菖蒲には厄災の力があると考えられてきました。



～子どもたちの咀嚼力をつける為に～

【乳幼児期では…】

乳幼児期に正しい摂食、咀嚼、嚥下を獲得する事で健全に口腔、鼻腔が発育し、鼻呼吸が可能になると言われています。近年、顎が小さく歯並びが悪い子も目立っています。乳歯より大きな永久歯が生えるためには、乳歯列の段階で歯と歯の空間が出来ることが必要です。その為にも“よく噛むこと”「前歯がぶり」が大切です。離乳食の段階から上唇を上手に使えるような食材選びや大きさ、固さを日頃から子どもの意欲に合わせていく事がとても大切です。

【ポイント】

- ①子どもの下唇にスプーンを軽く置きます。
- ②自ら上唇が閉じるのを待ち、閉じたらところで、スプーンを抜きます。※上唇に押し当てる事や、口の奥に入れしてはいけません。

【前歯がぶり】

3～5歳児では自分で噛みちぎれる大きさにカットする事が「前歯がぶり」を実践できるだけでなく、食べ物を口の奥へ送り込むための舌の機能も同時に備わってきます。家庭でも特に柔らかい食材(芋類や豆腐など)は、あえて子どもが一口量で食べられない大きさで提供すると歯でかぶりつかなければならず、この時その子どもにとっての適正な一口量を覚え、誤嚥の危険はほとんどなくなります。

【ポイント】

- ①椅子の座り方や足が閉じられているか確認しましょう。
- ②足が床について食べているか確認しましょう。※正座でも良いです。

5月の予定♪

- ✿行事献立✿ ✿食育・クッキング・畑✿
- ・誕生会献立、青空ランチ・味噌の話、テーマ野菜話
- ・キャベツちぎり、筍の皮むき、芋洗い、南瓜の種取等

6月の予定♪

- 虫歯予防デーの献立や園で取り組んでいる「年齢に合わせた食具」について紹介をする予定です。

